

R.I. District2610, ROTARY CLUB OB UOZU

## 魚津ロータリークラブ会報誌

2011 - 2012年度 RI会長 カルヤン・バネルジー

2011 - 2012年度 魚津RC会長 寺崎 明博



2011 - 8 - 05

### 第2788回 卓話例会報告

- 1、国歌 君が代斉唱
- 2、ロータリーソング「奉仕の理想」
- 3、四つのテスト
- 4、ゲスト並びにビジターの紹介



・2610地区 ガバナー補佐 吉田築夫様です

#### 5、誕生祝



・8月8日 谷口貞夫君

片貝の奥平沢に生まれました。30年前に全部の家がなくなりました。

小学4年まで山女分校で勉強をしていました。先生2人で1年から4年生まで教えていました。終戦まで1週間に1回、戦争に行く兵士の見送りがありました。

その後スギノクリーナーで仕事を教えてもらいました。大先輩にかわいがって頂きました。

ロータリーへは、21年ぶりに戻ってきました。皆さんから誕生祝を歌ってもらって大変うれしかったです。おかげさまで健康に恵まれていますので、是非15年目の88歳で会長をしたいです。



・8月13日 大城夫人

私の奥さんの誕生を祝っていただきありがとうございます。

奥さんは道産子であります。ですから夏の暑さには少し弱いですが、元気です。

皆さん、ありがとうございました。

#### 5、寺崎会長挨拶



皆さん、こんにちは！ガバナー補佐の吉田様ご苦労さまです。後ほどよろしくお願ひします。また谷口貞夫さん、大城さん誕生日おめでとうござひいます。

皆さんに一度お伝えしようと思ひていましたが、今年度は7月以来出席率が

一週目の7月1日100%、三週目の7月15日も100%を達成しておりま

す。また、その他の週においても90%以上をクリアしております。これは出席委員や川島さんの

努力には厚く感謝してひいます。しかし出席委員や川島さんがどれだけ電話やファックスをしよう

と委員の皆さんが応じてひいただかないとどうにもなりません。呼びかける人、それに応える人が一緒

になつてはじめて達成されるものであると思ひます。電話やファックスを送ることは簡単そう

なかなか大変なんです。はたして今電話してもいいだろうか、工作中ではないか、またお客さんや会議中ではないだろうか、大変気を遣うものです。

出席委員や川島さんから連絡があった時には、皆さん、電話の向こうで顔をしかめていても声だけは快く返事をしてあげて下さい。これは出席率向上だけではなく、会員の方々のためにも良いことになります。なぜ例会に出席した方がよいか、次の機会に話をさせていただきます。

## 6、幹事報告

・七尾ロータリークラブより事業計画書が来ています。

・8月の例会案内

8月12日 お盆のため休会

8月19日 卓話 辻(英晴)君、岡崎君 (サンルート)

8月26日 ガバナー公式訪問 魚津西ロータリーとの合同夜間例会 (サンルート)

釜一ロータリークラブより3~4人が参加される予定です。

8月SAA補助 池上君、中島君 よろしくお願ひします。



## 7、出席報告

本日の出席33名 出席率 94.28% 欠席者2名 メークアップ済 関口君、松田君  
2786回のメークアップ 山澤君 修正出席率 85.71を88.57%になりました。  
会長さんのことばが大変ありがたかったです。電話を受けて下さった方にもありがとうございました。(吉森出席委員長より)



## 8、ニコボックスの報告

・辻(浩)さんより、ロータリー情報委員会1年間宜しく

・生駒さんより、8月3日伏木港に海上自衛隊の護衛艦が寄港しました。孫と一緒に体験航海で日本を護る威風堂々に感謝しました。

・吉田ガバナー補佐より、今日宜しく。

・誕生祝 谷口貞夫さん  
大城さん(夫人)

## 9、委員会報告



・ロータリー友情交換 武隈委員長より、先週の金曜日夜、広浜国際奉仕委員長を中心に委員会が開催されました。

その時8月26日釜一ロータリークラブより3~4名来る予定になっています。

ついてはその接待はロータリー友情交換委員会がすることになりました。

今日の例会終了後、委員会を開催いたします。委員の方の出席をお願い致します。

## 10、本日の卓話

(1) 吉田築夫ガバナー 補佐より宜しくおねがいします。



ガバナー補佐は、8クラブ持ち回りになっています。一昨年は根岸さん(魚津RC)、昨年は魚津さん(朝日RC)でした。今期は魚津西RCの当番です。森会長(魚津西RC)とはいとこなので、引き受けざるをえなかったです。私の立場は炭谷ガバナーを補佐し、ガバナーの考えていることを伝えることとあります。8月26日ガバナーの訪問があります。

炭谷ガバナーはロータリーに対する造詣が深く、熱心で、特にラオスでの農業プロジェクトに積極的に参加され、学校や幼稚園の建設に努力されています。強い考えを持っておられます。

ラオス基金をお願いするかもしれません。

東日本大震災の寄付金については、全国で11億円集まりました。その中7,000万円は既に渡してあります。前ガバナーより現ガバナーに3,000万円引き継ぎました。岩手、宮城、福島地区に配布される予定になっています。

10月29日は地区大会があります。多数の参加を待っています。

また昨年された8クラブ合同例会を今年も引き続きやらせて欲しいと思っています。

ガバナーが訪問されましたら、皆様のご協力を宜しくお願いします。

(2) 広浜茂貞さんの卓話 "経営資源の有効活用" について



私は昭和62年ロータリーに入会しました。同期入会者は7人で、中島さんや谷口さんと一緒です。2000~2001年会長をし、幹事は大島さんでした。

私の仕事はアルミサッシの製造加工販売です。グループ社員数は160名です。営業所は新潟、富山婦中にあり、年商は昨年決算で40億円です。私は経営者ですのでお金を儲けたいと思っています。

経営資源として、人、物、金であり、今では情報が加わり、その上技術、経営ノウハウや設備、施設が必要になります。

人については、組織には出ませんが補佐役が必要です。大きい会社では経営参謀、情報参謀、作戦参謀が必要です。補佐役とナンバー2とは違います。ナンバー2は次期社長候補です。それは息子であり、娘婿であり、家族、親類などです。私もそろそろ息子に譲る頃合いになった。親から見れば不足だらけである。いくつになっても子供です。しかし子供は大きくなっています。

ロータリーには四つのテストがありますが、いい人材、悪い人材から見ると

- (1) 明るく元気な挨拶ができる。
- (2) 言われなくても自分の考えで行動する。
- (3) 人が嫌がることでも進んで取り決める。
- (4) 常にどうしたらできるかを考える。
- (5) 仕事の納得をきちんと守ることができることだと思います。

最後に四つのテストについては、言行はこれに照らしてから

- (1) 「真実か どうか」 私は違うと思います。
- (2) 「みんなに公平か」 これも違うと思います。
- (3) 「好意と友情を深めるか」 友情は何となく出来る。
- (4) 「みんなのためになるか どうか」 自分があるからこそ みんなである。

お客満足度である。自分が満足出来ない、他人に満足を与えることが出来ない。と社員に言っています。

### (3) 大島会員委員長の卓話 “新会員の推薦を”



8月は会員増強月間であるので、委員会を先日しました。

16～17年前は私は40台でしたが、会員は60数名でした。それから多くの会員が亡くなりました。父親みたいな人がなくなり半数近くになりました。

皆さん 友人、知人、ごく親しいひとなどロータリーに入っていたきたい人がいると思います。皆さんのテーブルに会員推薦用紙がありますので、是非一人1名、氏名、職業、推薦人などを書いて出していただきたいと思います。

それを理事会に諮り、会長、親しい推薦者、私(大島委員長)が三顧の礼をもって入って頂きたいと思います。先回ある人に入会をお願いしたところ「入るなら大島さんのロータリーに入りますが、今は少し無理です。」と断られました。皆さんの力を借りて、全員で会員増強をしたいと思います。出口で推薦用紙の回収をしますので、宜しくお願い致します。

#### 理事会・委員会の風景 (平成23年8月05日 例会後)



(理事会)



(ロータリー友情交換委員会)

あとがき

”勘太郎からの中元”

今年も例年の如く、わが社の向えの杉の木に”勘太郎”が家を構えた。4月の初めごろであった。勘太郎の命名は隣の勲さんである。愛嬌よく牛の顔を見に来るので、ついつい話をかけた。彼は勲さんがやる「麩(ふ)」が大好きである。喜んで頂くのであるが硬くて、いささか勘太郎でも食べにくい。彼は子育てに一心不乱の彼女のために、必死にご馳走を運んでいる。

勘太郎は考えた。麩を水に漬せば食べやすく、栄養も良いのではないか。

その漬す場所をわが社の洗車機の残り水にした。ワックスに味があるのか分からない。

毎日毎日、何回も何回も、せっせせと硬い麩を水に漬し、適度の柔らかさになったお料理を、向かいの高い杉の木の我が家へ運びこんでいる。

スタンドでは、洗車機の残り水を確保するために、時々水を撒いてやる。勘太郎は良く見ていた。

子供も賢いのか、サッパリ鳴かない。その為どれだけ成長したのかも分からない。

かれこれ2ヶ月すぎた。しきりに杉の木立の中に、羽ばたいている数羽の子供が見えた。巣立ちが早い。

7月初旬、勘太郎夫婦が見守る中、3羽の子供が元気よく、社会へと飛び立った。

それから間もなく、雨上がりの朝であった。スタンドの入り口に御礼の品が無造作に置いてあった。

勘太郎カラス君からの中元なのか。中身は”40センチばかりの精力剤マムシ”であった。

勘太郎君から人道を教えていただいた。ありがとう！

松田栄明幹事から釜一ロータリー訪問の直後電話があった。無事帰ってきました。今度電話する時は、駅前からします。ということであつた。あまり電話がかからないのにも思いながら、次の電話を待っていた。しかし一向にかかってこないのも不思議に思っていた。

彼は、入院していることを先日の例会で知った。

松田幹事の全快を祈願いたします。